

# 東京都農林・漁業振興対策審議会 答申の概要

## 第1章 東京の森林・林業を取り巻く状況

### 1 東京の森林・林業の位置付け

- ・森林は木材の生産、水源の涵養、災害の防止等の多面的機能を有し都民生活に貢献
- ・多摩地域の林業の低迷とともに森林循環も停滞しており、森林の多面的機能の低下が懸念
- ・林業は森林の整備を通じて、地域に持続的に雇用を創出することで地域振興に貢献
- ・木材の利用は、多摩地域の森林循環を促進し、多面的機能を発揮させていくことに繋がる
- ・「50年、100年先の『東京の森林の将来展望』～東京フォレストビジョン～」による未来像

### 2 社会情勢の変化

- ・森林経営管理法が成立し、所有者の意向により必要に応じて市町村や林業経営体が森林の経営管理を受託
- ・森林環境譲与税の創設により区市町村が主体的に森林整備や木材利用等を進めていくための新たな財源を確保
- ・産業の競争力維持・強化に向けたデジタルトランスフォーメーションの推進
- ・新型コロナウイルスの感染拡大による生活様式の変化を踏まえ木材需要の動向を注視
- ・気候変動が影響をもたらす災害への備えとともに、温室効果ガスの吸収源となる森林の役割が一層重要に

## 第2章 東京の森林・林業の現状と課題

### 1 森林整備

#### (1) 森林整備の一層の推進

- ・公的関与無くして森林循環の継続は依然として困難
- ・木材の搬出が困難な人工林の整備に遅れ
- ・所有者や境界が不明な森林の増加が懸念

#### (2) 新たな制度への対応と森林環境譲与税の活用

- ・森林環境譲与税と森林経営管理制度を効果的に運用するため都と区市町村、生産地と消費地の広域的な連携が重要

#### (3) 森林整備を担う林業従事者の育成

- ・長らく減少傾向にあった都内の林業従事者数は概ね横ばいで推移
- ・高度な技術者は依然として不足かつ高齢化が進行
- ・厳しい就労条件が林業従事者の定着を阻害

#### (4) シカによる林業被害の拡散

- ・多摩地域でシカによる林業被害が拡大

#### (5) 相次ぐ異常気象と災害への懸念

- ・激甚災害からの早期復旧

### 2 林業経営

#### (1) 生産性の低い林業経営

- ・林道及び森林作業道の開設実績は減少傾向
- ・森林の所有構造が小規模・分散的であり集約化が必要
- ・新たな技術が林業の収益性に大きく貢献する可能性

#### (2) 多摩産材の利用促進

- ・依然として低い多摩産材の認知度
- ・景気の悪化も影響し住宅分野における木材需要の縮小が懸念
- ・森林環境譲与税の創設を契機に公共施設の木材利用拡大に期待

### 3 木材利用

#### (1) 利用期を迎えた全国的人工林

- ・大消費地東京の木材需要拡大に全国が期待
- ・木造の設計や木質材料に精通した建築士は限定的
- ・森林や木材に親しむ心を育てる「木育」の広がり

### 4 森林利用

#### (1) 都民や企業等と森林の多様な関わりの促進

- ・SDGsの目標の多くに関連する森林に対する関心の高まり
- ・森林の多角的な利用が地域の産業振興に貢献する可能性

## 第3章 持続可能な森林循環の確立と林業の経営力強化の方向

### 基軸1 森林循環を促進し公益的機能を高める森林整備

#### (1) 新たな技術を活用した森林整備

- ・精度の高い森林情報を活用し整備の指針として生産林と保全林を区分
- ・木材生産に適している「生産林」は施業効率化を図り森林循環を促進
- ・公益的機能の発揮を優先すべき「保全林」は針広混交林等に誘導
- ・ライフライン等周辺の森林整備など、災害への着実な対応
- ・森林の所有者と境界の明確化を推進

#### (2) 区市町村との連携

- ・森林環境譲与税を活用した区市町村間の情報共有と連携を促進
- ・市町村による森林経営管理制度の運用を支援

#### (3) 林業従事者の確保と技術力の向上

- ・研修機会や福利厚生の実施を促進
- ・育成拠点の整備や講師の派遣等により高度な技術者を育成

#### (4) 野生動物による林業被害対策

- ・野生動物による被害の程度に応じた適切な対策を検討
- ・シカの管理捕獲と防護柵等による被害防除を強化

#### (5) 森林被害への対応

- ・治山事業を推進し、台風等による被災箇所を着実に復旧
- ・森林の適正な管理とともに森林循環を促進し災害に強い森林を育成
- ・森林病虫害による被害への適切な対策を促進

### 基軸2 生産性と収益性の高い林業経営

#### (1) 効率的な施業と先進技術の導入

- ・路網の開設と高規格化を推進
- ・多摩地域に適した施業の検証と普及を推進
- ・ドローンやICTを駆使した林業のデジタルトランスフォーメーションを推進

#### (2) 林業経営体の経営基盤の強化

- ・意欲的な林業経営体への森林の集約化を促進
- ・林業経営体による労働安全対策、雇用の安定化に向けた取組を促進
- ・森林を生かした事業と林業の兼業など多角的な経営を促進

#### (3) 多摩産材の利用拡大

- ・ブランドイメージの構築に向けて「東京」の知名度等を活用
- ・施主や設計者等へのPR強化に向けて多摩産材情報センターを拡充
- ・区市町村による木材利用を支援し公共施設への利用を拡大
- ・新型コロナウイルスの感染拡大等による社会変化を捉え、多様な用途の需要を拡大

### 基軸3 多摩産材をはじめとする国産木材の需要拡大

#### (1) 新たな分野における木材需要の拡大

- ・中・大規模建築物、内装、木塀等における木材需要を拡大
- ・全国との連携により国産木材をPR
- ・木造化や木質化に精通した建築士の育成を促進

#### (2) 木育活動の推進

- ・保育園や団体等が行う木育活動を促進
- ・木育に対する大人たちの理解を深め、学校や家庭における木育を促進

### 基軸4 都民や企業等による森林利用の拡大

#### (1) SDGsを目指す協働の森づくり

- ・企業等のニーズを踏まえ新たな森林利用の枠組みを検討
- ・森林ボランティアなど都民と森林がつながる機会を創出

#### (2) 森林を生かした産業振興

- ・眺望や園地等の整備を進め、森林を観光資源としてPR
- ・島しょの有用広葉樹の苗木生産、造林、保育を促進